歯車箱の一部破損の調査結果について

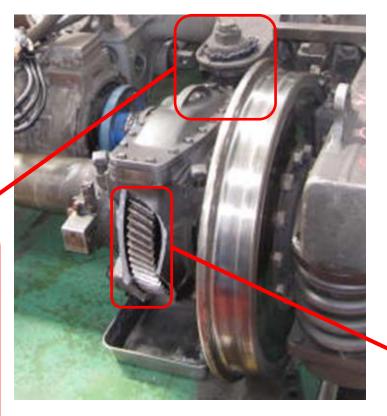
平成25年4月18日(木)、ひかり515号(700系16両編成、JR東 海所属C50編成)にて、一部破損が発見された歯車箱について、浜松工場で 解体調査を行いましたので、調査結果及び今後の対応についてお知らせいたし ます。

- 1. 調査内容 C 5 0 編成 1 0 号車 N o . 1 台車の解体調査
- ・歯車箱において既発表の破損(大歯車側)の他に、小歯車 2. 調査結果 (別紙1) 側にも破損が認められ、また、小歯車軸受や継手等にも傷 が認められました。
- 3. 推定原因 (別紙2)
- ・小歯車軸受のコロを保持する部品(保持器)が破損したこ とで、軸受のコロが脱落しました。
- ・歯車箱の大歯車側の破損については、脱落したコロが歯車 箱のすき間に入り込み、大歯車に噛み込んで、破損に至っ たものと思われます。
- ・小歯車側の破損については、小歯車軸受の保持器が破損し たことにより、小歯車が振れ回り、歯車箱と接触したこと で、破損に至ったものと思われます。
- 各部品の取付状態、潤滑油の状況、及び検査記録表の内容 により、当社のメンテナンス過程には問題ないことを確認 しており、当該保持器本体側に欠陥があったものと思われ ます。この保持器の破損原因については、製造メーカーで 引き続き調査しています。
- 4. 今後の対応 ・同一ロットの小歯車軸受については、良好なものに取替を 進めて参ります。
 - ・なお、取替までの間、小歯車軸受の健全性を確認するため、 歯車箱の磁気栓検査と油分析を行い、同種事象の発生を未然 に防止します。

破損B

小歯車側





歯車箱が破損 歯先にきず有



破損A

大歯車側



歯車箱が破損 歯先にきず有

コロ

保持器

